

国指定浜頓別クッチャロ湖 鳥獣保護区について



クッチャロ湖は大沼と小沼からなり、海岸砂丘地でオホーツクの海と隔てられた周囲約30kmの道北最大の海跡湖であり、汽水湖です。湖とその周辺湿地は、渡り鳥の集団渡来地として国指定鳥獣保護区に指定されているとともに水面全域が特別保護地区になっています。春と秋にコハクチョウ、オオハクチョウ、ガン、カモ類などが渡りの中継地として飛来するほか、夏にはオジロワシやカワセミが子育てし、冬にはオオワシや海ガモ類が渡ってきます。現在までに300種を超える鳥類が確認されています。

ラムサール条約について

正式名称：特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約

1971年にイランのラムサールで開催された国際会議で採択されたこの条約は、国境を越えて移動する水鳥たちにとって重要な生息地である湿地を登録し、国際的な協力の下で保護・保全するとともに、賢明な利用（ワיזユース）を促進しようとするものです。クッチャロ湖は1989年に日本で3番目に登録されました。クッチャロ湖は渡り鳥にとって日本の北の玄関口となっており、特に日本で越冬するコハクチョウは、そのほとんどが中継地として飛来します。

水鳥観察館とは

1993年釧路で行われたラムサール会議では、登録湿地での湿地の価値について広く知ってもらうため、教育・普及啓発施設の整備を行うよう、締結国に勧告しました。

水鳥観察館は、この国際約束を履行するために環境省が各地で整備を行った施設の一つです。



クッチャロ湖周辺の地図



クッチャロ湖でのハクチョウや カモ観察の際にお願いしたいこと

- 1.柵の中に入らない。
- 2.ハクチョウやカモを触らない。
- 3.ペットを湖畔に連れ込まない、車から出さない。
- 4.ドローンを飛ばさない。
- 5.野鳥を間近で観察した後は手と足を消毒する。



浜頓別町
マスコットキャラクター
(スワッタン)

ご利用のご案内

- 開館／午前9時～午後5時
- 休館／月曜日、祝日の翌日、年末年始
- 入館料／無料

～お問い合わせ先～

浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館

〒098-5739 北海道枝幸郡浜頓別町クッチャロ湖畔

TEL・FAX (01634) 2-2534

ホームページ：<http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/>

環境省 稚内自然保护官事務所

〒097-8527 北海道稚内市末広5-6-1 稚内地方合同庁舎

TEL (0162) 33-1100 FAX (0162) 33-1101



浜頓別クッチャロ湖 水鳥観察館

国指定鳥獣保護区/ラムサール条約湿地



コハクチョウについて

コハクチョウは、体重5~7kg、翼を広げると180cmにもなる大型の水鳥です。クッチャロ湖には春と秋の渡りの季節に飛来し、春のピーク時には約6,000羽が集まります。成鳥は純白で、生後一年目の幼鳥は灰色をしており、主に水中の水草などを食べて生活しています。

クッチャロ湖で見ることができる鳥たち



オナガガモ♂ 春・秋



オナガガモ♀ 春・秋



マガモ♂ 春・秋



ヒドリガモ♂ 春・秋



コガモ♂ 春・秋



スズガモ♂ 春・秋



キンクロハジロ♂ 春・秋



ハシビロガモ♀ 春・秋



ヨシガモ♂ 春・秋

コハクチョウとオオハクチョウの違い

コハクチョウ



盛りあがっている

短い

丸い



オオハクチョウ



頭

くちばしの長さ

くちばしの付け根



盛り上がりはない

長い

とかっている

- 上くちばしの付け根の黄色い部分が丸みを帶びている。
- オオハクチョウと比べて頭が少し盛り上がっている。
- くちばしは短い。
- 上くちばしの付け根の黄色い部分が三角形。
- 頭の盛り上がりはない。
- コハクチョウより1回り大きい。
- くちばしが長い。

成鳥と幼鳥の違い

成鳥



白色

くちばしの付け根
黄色

全身

足

黒色

幼鳥



薄いピンク

灰色

濃い灰色

- 全身の羽色は白色。
- 上くちばしの付け根が黄色い。
- 足は黒色。
- 全身の羽色は灰色。
- 上くちばしの付け根が薄いピンク色。
- 足は濃い灰色。
- 成鳥より小さく細い。



トモエガモ♂ 春・秋

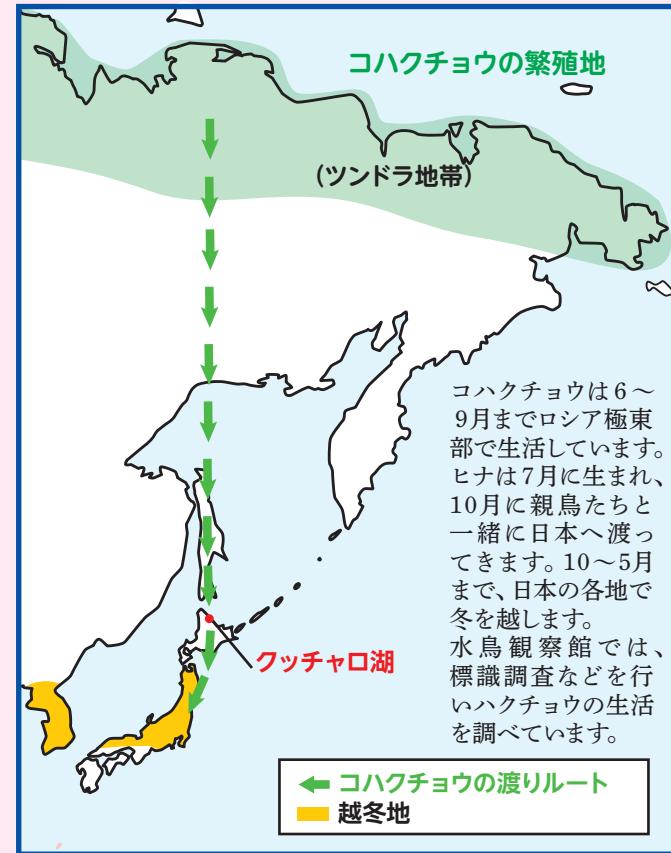


オオワシ 冬

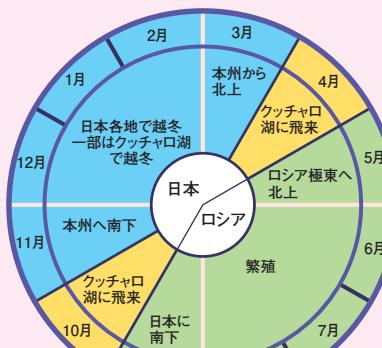


オジロワシ 冬

ハクチョウの渡り



ハクチョウがいる季節



ハクチョウやカモは秋から春まで滞在し、夏はクッチャロ湖にはおらず、ロシアにいます。



春には、白鳥のペアによるハッピーリング（見つめ合い行動）が見られ、その姿を見ると幸せになれると言われています。